

事業所名

ウィズ・ユー大宝

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和

8年

2月

16日

法人（事業所）理念		One step forward ～一歩ずつ、確かに～		
支援方針		一、利用者様、ご家庭、地域の課題に真摯に向かい合い、ニーズに合わせたサービスを提供します。 二、利用者様、ご家庭のご状況に合わせ、最適な環境の事業所をご案内しお過ごしいただきます。☒ 三、利用者様の将来につながるように、長期的な視点で支援を行います。		
営業時間		11 時 00 分から 19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	来所時に体温や体調を確認して心身の健康状態を把握します。また、意思表示が困難である子どもの障害の特性および発達の過程、特性に配慮して小さな変化に気付けるように日々観察します。 簡単なプリント学習による学習習慣の定着を支援します。 挨拶、衣類の着脱、荷物の管理といった生活に必要な基本的技能の習得を支援します。		
	運動・感覚	遊びやレクリエーションを通じて、バランス感覚、運動機能、感覚統合を育てていきます。 保有する触覚や味覚等の感覚を活用する楽しさを感じられる活動に取り組みます。 必要に応じて別室の利用や空間の分割を行い、感覚の特性に配慮した環境調整をします。		
	認知・行動	事前のスケジュール確認や声掛けで、見通しを持った活動参加や切り替えを支援します。 一緒に環境の確認作業や行動を考える手順を踏みながら、場面における適切な行動につなげる一連の認知過程の発達を支援します。 学習支援や遊びを通じて時間や数や色等の概念の形成を図り、認知と行動の手掛かりとして活用できるように支援します。		
	言語コミュニケーション	体験や感情と言葉を結びつける等により、体系的な言語の習得を促す支援をします。 必要に応じて職員が仲介しながら、他者と関わるうえでの適切なコミュニケーションや言葉遣いを支援します。 絵カードやハンドサインといった多様なコミュニケーション手段を活用し、意思の伝達を支援します。		
	人間関係社会性	ごっこ遊び等の象徴遊びやルールや役割分担のある協同遊びの時間を確保し、社会性の発達を支援していきます。 活動におけるルールや他者と関わるうえでのマナーの存在を提示しながら集団への円滑な参加を支援します。 他者との関わりやルールのある活動を通して、感情や行動、その解決手段の多様性への理解を深めていけるように支援していきます。		
家族支援		施設とご家庭での様子を共有し、困り事や改善点があれば、ご家族と一緒に考えたり実践したりして目標達成に向けて支援します。 ご家族の希望に応じて関係機関と情報を共有し、連携して双方の支援に役立ちます。	移行支援	長期的かつ継続的な支援が可能となるように関連機関との連携強化に努め、ライフステージの切り替えに伴う支援方針や環境の変更に対応可能な体制を整えます。
地域支援・地域連携		地域の定例会議に参加し、地域の課題の共有と解決に努めています。 学校とも情報共有をし、必要な支援につなげています。	職員の質の向上	毎日の朝礼時にスモールステップの研修の実施しています。 経験、職種、等級に応じた研修の参加を促し、スキルアップの機会をつくっていきます。
主な行事等		季節に応じたイベント活動(節分、夏祭り、クリスマス会等) 学休日、長期休暇のイベント活動(工作、クッキング、お出かけ) 保護者様が交流を持てるように保護者会の実施。講師を招いてセミナー等を実施しています。		